

平成25年7月教育委員会会議の要旨

1 日 時

平成25年7月23日（火）

開会 13時 閉会 16時12分

2 場 所

教育庁教育委員会室

3 出席委員

委員長	村上 智真
委員長職務代理者	山縣 俊郎
委員長職務代理者	稲野 靖枝
委員	岡野 芳子
委員（教育長）	田邊 恒美

4 欠席委員

委員	中田 範夫
----	-------

5 出席者

教育次長	竹本 芳朗
審議監	小西 哲也
教育政策課長	河村 邦彦
教職員課長	廣川 晋
義務教育課長	清時 崇文
高校教育課長	岩本 龍治
特別支援教育推進室次長	石本 正之
社会教育・文化財課長	藤村 恭久
人権教育課長	尾崎 敬子
学校安全・体育課長	栗林 正和
教育政策課企画監	濱井 昭巳
やまぐち総合教育支援センター次長	十河 悟

議 案

議案第1号『山口県社会教育委員の委嘱について』

【概要】

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条第2項並びに山口県社会教育委員の定数及び任期に関する条例（昭和24年山口県条例第56号）第1条及び第2条の規定により、山口県社会教育委員を以下のとおり委嘱するよう、審議し、承認された。

山口県社会教育委員名簿

（任期 平成24年8月1日～平成26年7月31日）

○学校教育の関係者

平成25年7月23日現在

氏 名	役 職 名	備 考
うちだ しげみ 内田 重美	宇部市立岬小学校長	
すぎやま やすこ 杉山 康子	美祢市立厚保中学校長	
にしむら よしこ 西村 佳子	山口県立山口中央高等学校長	
なかの やすこ 中野 靖子	学校法人中村学園 中村女子高等学校長	
はやかわ かよこ 早川 加代子	学校法人西岐波学園 たちばな幼稚園長	

○社会教育の関係者

なかの りえこ 中野 リエ子	山口県連合婦人会副会長	
ふじい まさひろ 藤井 政宏	山口県連合青年団長	
まつはし みえこ 松橋 美恵子	宇部市子ども会育成連絡協議会会長	
なかいそ かずこ 中磯 和子	山口県PTA連合会副会長	
なかむら よしこ 中村 美子	山口県老人クラブ連合会副会長兼女性部長	
なかはら かずあき 中原 和昭	山口県公民館連合会会長	
なかむら たつお 中村 龍夫	山口県体育協会常務理事	新任
みうら けいこ 三浦 恵子	こどもと本ジョイントネット21・山口光ベースキャンプ役員	

○家庭教育の向上に資する活動を行う者

むらた くみこ 村田 久美子	山口県保育協会保育士部会副部長 (山口市立陶保育園長)	新 任
やすみつ まゆみ 安光 真裕美	山口県地域活動連絡協議会副会長	副議長

○学識経験のある者

やまだ まさとし 山田 正敏	山田石油株式会社代表取締役社長	
たなか りえ 田中 理絵	山口大学教育学部准教授	
あいほら つぎお 相原 次男	宇部フロンティア大学教授	議 長
ひさおか てるよ 久岡 照代	株式会社みなと山口合同新聞社 山口新聞編集制作センター長	
いのうえ たかずみ 井上 隆純	特定非営利活動法人 ヒューマンネット21下関 代表	公 募

議案第2号『山口県指定無形文化財保持者の追加認定について』

【概要】

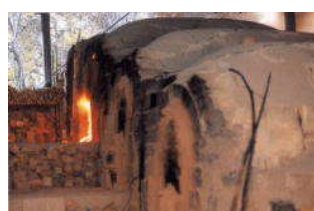
山口県文化財保護条例（昭和40年山口県条例第10号）第26条第5項並の規定により、下記の者を山口県指定無形文化財保持者に追加認定するよう、審議し、承認された。

名 称	氏 名	雅 号	生年月日	住 所
萩 焼	さかくら しょうじ 坂倉 正治	しんべえ 新兵衛	昭和24年1月3日	長門市深川湯本1487番地

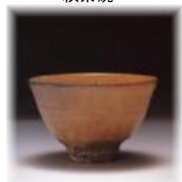
15代坂倉新兵衛作陶風景



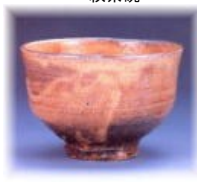
登り窯



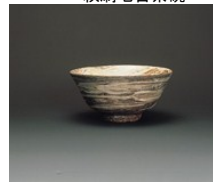
萩茶碗



萩茶碗



萩刷毛目茶碗



報 告 事 項

◆『平成26年度(2014年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験(第一次試験)の受験状況』について、報告された。

【概要】

平成26年度(2014年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験(第一次試験)の受験状況について

1 期日・会場

期日：7月20日(土)、21日(日)

会場：山口県立山口高等学校、山口県立山口中央高等学校、山口県立西京高等学校、國學院大學たまプラーザキャンパス

2 試験内容

教職専門、教科専門、集団面接、個人面接(スポーツ・芸術特別選考)、実技(芸術、体育等)

3 受験状況

(1) 全体の受験状況 ()は昨年度

・採用見込者数(A)	381人	(323人)
・採用選考試験志願者数(B)	1,677人	(1,541人)
・第一次試験免除者数(C) (※)	152人	(192人)
・第一次試験欠席者数(D)	102人	(84人)
・第一次試験受験者数(E = B - C - D)	1,423人	(1,265人)
・採用選考試験受験者数(F = E + C)	1,575人	(1,457人)

※前年度採用選考試験第二次試験の総合評価ランクがA又は、B判定の者は特例志願者として第一次試験を免除している。

※他県における本採用教員で、平成25年3月31日現在、3年以上の勤務経験(志願区分(職種等)の教科と同一の勤務経験)を有する者は特例志願者として第一次試験を免除している。

(2) 選考区分・志願区分別受験状況

別紙受験状況資料のとおり

4 第一次試験結果の発表及び試験問題・解答例の公開

(1) 第一次試験結果の発表

試験の結果は、8月13日(火)に通知文書を本人に発送するとともに、合格者の受験番号を山口県庁インフォメーションプラザに掲示し、山口県教育委員会のホームページにも掲載する。

(2) 試験問題・解答例の公開

期日：7月29日(月)午後1時から

場所：情報公開センター、地方県民相談室

5 第二次試験

期日：8月24日(土)、25日(日)

場所：山口県立山口高等学校、山口県立山口中央高等学校、山口県立西京高等学校

試験内容：適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、
実技(小学校及び特別支援学校小学部のみ)

平成26年度(2014年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験(第一次試験)の受験状況資料

(1) 選考区分・志願区分別受験状況

()は昨年度

選考区分・志願区分	採用見込者数 (A)	志願者数 (B)	第一次試験 免除者数 (C)	欠席者数 (D)	第一次試験 受験者数 (E)	採用選考試験 受験者数 (第一次試験受験者+ 第一次試験免除者) (F)	採用選考試験 倍率 (F/A)	
一般選考・特別選考	小学校	195 (185)	505 (469)	53 (73)	27 (18)	425 (378)	478 (451)	2.5 (2.4)
	中学校	94 (64)	523 (484)	44 (51)	31 (25)	448 (408)	492 (459)	5.2 (7.2)
	高等学校	49 (36)	473 (428)	35 (47)	39 (31)	399 (350)	434 (397)	8.9 (11.0)
	計	338 (285)	1,501 (1,381)	132 (171)	97 (74)	1,272 (1,136)	1,404 (1,307)	4.2 (4.6)
	特別支援学校小学部	4 (3)	26 (18)	3 (1)	0 (0)	23 (17)	26 (18)	6.5 (6.0)
	特別支援学校中学部	4 (3)	18 (19)	3 (5)	0 (0)	15 (14)	18 (19)	4.5 (6.3)
	特別支援学校高等部	5 (4)	18 (14)	4 (5)	0 (0)	14 (9)	18 (14)	3.6 (3.5)
	計	13 (10)	62 (51)	10 (11)	0 (0)	52 (40)	62 (51)	4.8 (5.1)
養護教諭	22 (22)	113 (109)	10 (10)	5 (10)	98 (89)	108 (99)	4.9 (4.5)	
合計	373 (317)	1,676 (1,541)	152 (192)	102 (84)	1,422 (1,265)	1,574 (1,457)	4.2 (4.6)	
身体障害者を対象とした選考	8 (6)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0.1 (0.0)	
身体障害者を対象とした選考を含めた合計	381 (323)	1,677 (1,541)	152 (192)	102 (84)	1,423 (1,265)	1,575 (1,457)	4.1 (4.5)	

(2) 特別選考の受験状況((1)の内数)

()は昨年度

志願区分	社会人特別選考				スポーツ・芸術特別選考			
	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数
小学校	1 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (3)				
中学校	5 (3)	0 (0)	0 (0)	5 (3)	7 (5)	1 (0)	1 (0)	5 (5)
高等学校	5 (8)	0 (1)	1 (0)	4 (7)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	10 (10)
合計	11 (14)	0 (1)	1 (0)	10 (13)	17 (15)	1 (0)	1 (0)	15 (15)

志願区分	博士号取得者特別選考			
	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数
高等学校	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

志願区分	理療科教諭特別選考			
	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数
特別支援学校	3 (5)	1 (1)	0 (0)	2 (4)
合計	3 (5)	1 (1)	0 (0)	2 (4)

【 主な意見 】

○山 縣 委 員：大都市では、先生を志望する人が非常に少なくなっているという話を聞いている。本県でも、徐々に志願倍率が下がってきている。教員志願者が増えるような対策を考えて、実行していただきたい。

平成26年度(2014年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験(第一次試験)
における教科専門試験問題の誤りについて

1 該当試験実施日時・会場

日時：7月20日(土) 14:30～16:00

会場：山口中央高等学校、國學院大學たまプラーザキャンパス

2 該当試験教科(科目)

高等学校理科(生物)

3 該当試験受験者数及び採用予定者数

受験者数：20名(山口会場19名、東京会場1名)

採用予定者数：2名

4 誤りの内容

問題番号 第4問 (1)オ(DNAによりタンパク質が合成されるしくみに関する計算問題)において、数値に誤りがあった。

5 経緯

7月20日の試験終了後、受験者から教職員課へ電話で指摘があり、判明した。

6 対応

- ・ 7月21日(日)、高等学校理科(生物)の受験者全員に、口頭及び文書により説明の上、謝罪を行った。
- ・ 同日、記者発表を行った。
- ・ 受験者全員を正解として採点する。
- ・ 今後、問題作成における確認作業等をより一層入念に行い、再発防止に向けて万全を期す。

【 質 疑 】

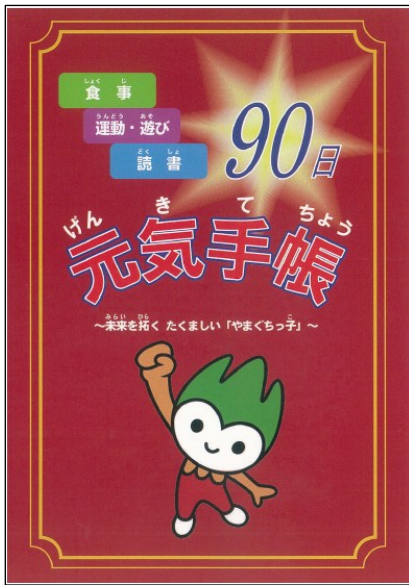
- 稲野委員：受験者からの指摘で誤りが判明したとのことだが、他の試験問題のチェックは行ったのか。
- 教職員課長：他の教科・科目の試験問題についても、昨日から再チェックを行っているところである。

【 主な意見 】

- 岡野委員：今後、こういったことが起きないように、事務局できちんと処理していただきたい。
- 教職員課長：受験者の方には大変ご迷惑をおかけし、申し訳ない。
謝罪・説明には、誠心誠意、対応したい。
- 稲野委員：今後は、問題を作成した後のチェックをしっかりとする必要がある。
- 教職員課長：問題作成に当たっては、細心の注意を払って行ってきたつもりだが、こういう事態が生じたということで、問題作成の体制・システムそのものが機能していなかったと反省している。
改めて、問題作成段階の体制・システムを検証し、再発防止に努めてまいりたい。

◆『「『食事、運動・遊び、読書』」90日元気手帳の配付』について、報告された。

【概要】



2013年度		「食事、運動・遊び、読書」90日作戦		Oにつけよう		達成率	
月		今月のめあて		達成ポイント		達成率	
日	曜	できごと・感想 など	食事ポイント	運動・遊びポイント	読書ポイント	達成率	達成率
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							

ポイントの振り返り
がんばったこと・もつこいがんばりしたこと など

おうちのみんなから

早寝早起き朝ごはん
本を読んで外遊び
みんな仲良く今日も元気

「元気ですか？」
—「元気です！」と
答えるためには、心も体も
元気であることが大切です。
もし、「食事」「運動・遊び」
「読書」のどれかがなくなると
どうでしょうか。心と体のバ
ランスがくずれてしまって、
元気ではなくなります。

90日間、「食事」「運動・遊び」「読書」にチャレンジし、元気ポイントをためて、未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」をめざしましょう。

☆目標を決めてチャレンジしよう！☆

♪ 元気ポイント 71以上 **たくましい「やまぐちっ子」**

51～70 **ねばりずよい「やまぐちっ子」**

31～50 **がんばっている「やまぐちっ子」**

食事

朝ごはんを食べよう！
○体温が上がり、体のスイッチが入ります。
○朝のうちに排便ができるようになります。
※早寝早起きも大事！
早寝早起きをしないと食欲が出ません。

栄養のバランスを考えて食べよう！
○エネルギーがたくわえられます。
○たくましい体ができます。
○体の調子よくなります。

よくかんで食べよう！
○脳のはたらきがよくなります。
○あごが丈夫になります。
○肥満を防ぐことができます。

おもにエネルギーとなり、
体を動かす
もとになる

おもに血や肉となり、
体をつくるもとになる

おもに体の調子をを整え、
病気にかけにくくなる

【質 疑】

- 岡野委員：3年間の手帳の活用成果をどのような方向性をもって、どのように活用しようと考えているのか。
- 学校安全・体育課長：活用の状況を各学校へ調査し、どういった効果が得られたかを集約した上で、子ども元気創造推進協議会等で議論し、新たな事業の展開に結びつけたいと考えている。

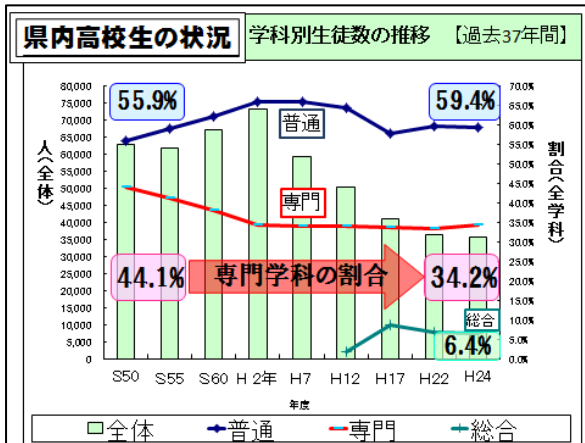
意見交換

『未来を拓く産業人財の育成について』

【概要】

1 事務局（高校教育課）からテーマについて概要説明

- (1) 県内高校生の状況について
 - (2) 山口県、教育委員会の取組について
 - (3) 未来を拓く産業人財の育成について
 - ・キャリア教育の推進
 - ・専門高校における職業教育・・・**ものづくり人財育成プロジェクト**
- 3つの視点
- 将来のスペシャリストの育成
 - 将来の地域産業を担う人材の育成
 - 人間性豊かな職業人の育成
- ・グローバル人材の育成・・・**グローバル人財育成プロジェクト**
 - ・次代を担う科学技術系人材の育成・・・**確かな学力育成プロジェクト**



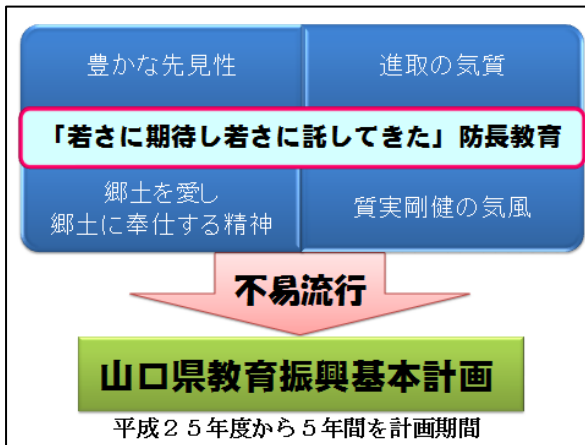
山口県政の取組

山口県民力を結集して山口を再起軌 輝く、夢あふれる県政の実現

5つの柱

- 1 産業力・観光力の増強
- 2 人財力の育成
 - 3 安心・安全の確保
 - 4 県民くらし満足度向上
 - 5 山口県民に相応しい行政システム作り

やまぐち産業戦略推進計画を策定中【H25～28】（4年間）



未来を担う産業人財の育成

総合的・計画的な施策の推進(31施策)

○ キャリア教育の推進

<視点>
発達段階に応じて 体験活動を重視 連携・協力

小学校 中学校 高等学校

したいことを見つける できることを増やし伸ばす 社会の一員としての自覚

主体的に社会に働きかけ、貢献しようとする人

2 講演「保護者として、産業人として山口県の高校教育に望むもの」

(にいぬま商店 代表 新沼淳志 様)

～山口県を語学先進地へ～

- ・外国の文化や語学に興味をもった学生・生徒への受け皿づくりを、是非進めていただきたい。
- ・将来の就職も見据えつつ、語学力研修の充実が山口県教育の特徴と言われるようになって欲しい。

～相手の立場に立った挨拶のできる人財育成を～

- ・「いらっしゃいませ」ではなく「こんにちは」
相手の立場に立って、コミュニケーションが図れる挨拶。
- ・「あっ」「おっ」
短いけれど、親しく感じる特別な言葉
マニュアルでは伝えられないけれど、相手に伝わる言葉。
- ・知り合いにも名乗る
挨拶の後に、自分の名前を名乗ることで、相手も親しみをもってくれる。

3 事例発表

(1) 「生徒の活力と教職員の組織力を活かした地域連携の実践」

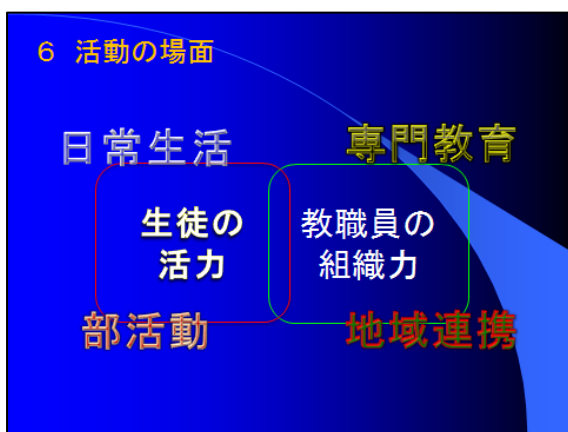
(岩国商業高等学校)

3 生徒の活力

- **自己有用感の醸成**
部活動、学校行事、ボランティア活動
- **社会性の向上**
公正さ、マナー、コミュニケーション能力
- **基礎学力・専門性の向上**
読解、論述、商業知識・実務、検定
- **将来設計能力の向上**
キャリア意識、卒業後のビジョン、**地域学習**

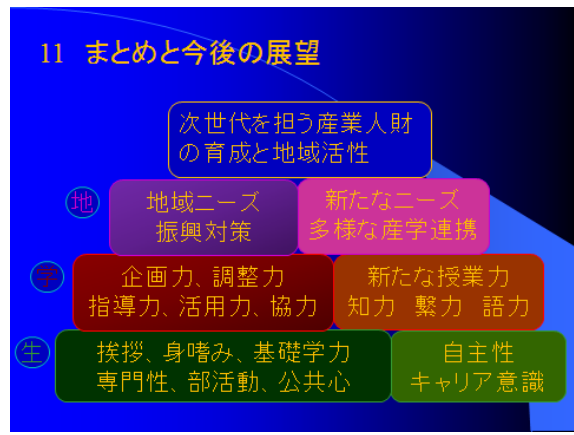
4 教職員の組織力

- **教育活動の専門性・指導力**
授業改善、生活指導、学級経営等
- **協働実践力**
支援の共通認識、意思疎通
- **新しい学びや活動への対応力**
体験的な学習、個に応じた支援
- **めざす学校像を考え、描く力**
学校運営への参画



10 積極的な地域連携

- ◇ 地域に根ざす学校行事 → プラザ若商の開催
- ◇ 教育課程上 → 「地域学習」の創設の工夫
- ◇ 地域振興のための連携 → 中山間地域振興の連携
- ◇ → 地域行事への参画



(2) 「力と勢い、そして夢のある岩工づくり」 (岩国工業高等学校)

力と勢いそして夢のある岩工づくり

岩工の3つの柱

1つめは “力”

工業高校としての専門性を重視した、
基礎的・基本的学力向上と確かな技術力
の習得

一人ひとりにしっかりと基礎・基本を身に
付けさせ自信を持たせる。

岩工の2つ目の柱は “勢い”

ものづくりや特別活動への積極
的取組を通じた、主体的将来設計
能力と豊かな人間性の育成


学校においての日々の学習をとおり、基礎的、
基本的な知識・技能をきちんと身につけることを
徹底することに加え、「社会の一員としての幅広い
能力」いわゆる社会性の育成も図っていく。

岩工の3つの柱

最後は “夢の実現”

将来の夢や目標をしっかりと定め、
これからの時代に求められる
力を備え、自己実現を図るための
積極的なチャレンジの推進

実績に裏付けされた進路実現
地元で強い岩国工高



卒業後の進路平成24年度

進学 30 19%



就職 128 81%

- 就職
 - ✓技術職
 - ✓技能職
 - ✓研究職
 - ✓公務員ほか
- 進学
 - ✓大学
 - ✓専門学校

全員が進路を決定して卒業!
平成24年度は11月には全員進路先が決定しました

体系的なキャリア教育学習による育成プログラム

- 1年生**
 - 進路ガイダンス
 - インターンシップ参加(1年生2月)
 - 校内HPの使い方(企業調査、求人票の見方)
 - 企業見学
 - 3年生体験談聴講
 - 進路講話(キャリア・インストラクター)
- 2年生**
 - 進路ガイダンス
 - 進路講話(キャリア・インストラクター)
 - インターンシップ体験発表
 - 進路模試
 - 企業見学
 - 卒業生による講話
 - 進路相談(就職サポーター)
- 3年生**
 - 進路ガイダンス
 - 進路模試
 - 就職試験準備(履歴書・面接指導など)
 - 進学準備(進学課外、小論文指導)
 - マナー教育(外部講師による講話)
 - 企業見学
 - 進路講話(キャリア・インストラクター)
 - 職業適性検査(クレーリン)

しっかりと**基礎・基本**を身に付け
多くの**資格**を学び・取得し
ものづくり等の技能を身に付け
部活動で鍛えた体力と精神力
社会人としての**マナー**と**基本的
生活習慣**をもって

**力
と
勢い
そして
夢のある
「岩工」
づくり
を行っています。**

自信を持って社会に羽ばたいて
いく**生徒の育成**を行っています。

【パネルディスカッション】

地域の産業関係者、教育関係者をパネリストとして、それぞれの立場からテーマに関して意見を述べ、教育委員と現状の課題や今後の改善策等について意見交換を行った。

パネルディスカッション意見

- 産業技術学校は、地域の人財育成に大きな役割を果たしているが、最近の厳しい雇用情勢の中、離職者を早期に再就職させる役割が大きくなっている。
- 自らの積極的な企業訪問、就職活動が有利となるよう、できる限り多くの資格取得、企業が求める社会人としてのマナーを身に付ける接遇研修、企業での実習等の取組を行った結果、就職率は向上している。
- ハローワークの取組もここ数年でかなり変化している。特に特徴的なのは、既卒者対策、既卒3年以内を新卒扱いとして支援していくということ、専門学生以上の若者の支援対策。
- 山口県PTA連合会では「生きたい学校・帰りたい家庭をめざして創り上げていくPTA活動」をスローガンにしており、活動の中の一つに学校教育の方針を理解し、進んで協力しようというものもある。
- 全ての子どもたちに希望ある未来への支援をお願いしたい。キャリア教育を充実させて、子ども達が自分の可能性を見出せるきっかけを学校教育の中で掴んでいけるようなこともあればいい。
- 専門高校のみならず、普通科高校・総合学科高校においても、長期的な意味での産業人財の育成に取り組んでいる。
特に、岩国地域は昔から理数教育・科学教育が盛んな地域であり、理数科設置校である岩国高校では、一線級の科学技術者を育てていきたいと考えている。
- 仕事でアメリカへ行って特に思うのが、他のアジアの国の人と比較して、日本人は弱い感じがするという事。日本は戦後68年を経て、豊かになったので、ハングリー精神をもてというだけでは、何も変わらない。もし、変えられるとしたら、やはり教育の力だと思っている。
- 事例発表で両校とも運動部活動の話があったけれども、たくましい子どもを育てるのに、これ以上のものはないと感じた。両校とも就職率も高いということで、納得した。
まずは、生きる力、高い志をもった生徒を育てることが必要。
- 部活動の指導では、競技力だけでなく、全人的な発達段階に応じて、生徒がもっていない力を身に付けつけていけるかどうかということ、また、活躍した生徒に対しては、しっかりと褒めてあげて、自己有用感を感じさせてあげること、この2点を心がけながら指導を行っている。
- コミュニケーションの取り方は非常に大事な事だが、最近は一昔前のような強い先輩・弱い後輩という関係とは少し変わってきているように思う。
部活動では、海外の選手とも試合をする機会があるが、対戦選手ともコミュニケーションをとる場面があり、そういう場面・経験を通じて、また一回りずつ大きくなっていくと思っている。
- 適切に褒める、失敗は成功に結びつく経験だということを、教えてあげながら育てていくことが、次に頑張ろうという姿勢に結びついていくと思う。

○ 今の社会の中で、外国語の勉強はとても必要だと思うが、まずは日本語を正確に、正しく話せるようにすべき。

今から、世界に出て行く若い人たちが、自分が生まれ育った故郷、日本に自信をもって、その良いところ、素敵なところを話せるように育ってもらいたい。

日本には素晴らしい伝統・文化、歴史があるので、そういうものを身に付けてから、世界に羽ばたいて欲しい。

○ 今までの経験から、ある程度、会社の内容を知ってインターンシップに来る人は素晴らしい人が多い。こういう制度はできる限り時間をとって、やった方が良い。

○ どんな職業でも、その仕事に対する誇りと志をもった人間が成果を残す。

高校卒業時の18歳で長い人生のことを決定するというのは難しいかもしれないが、志をもつ精神を育てることが必要。

○ 現在、山口県では山口県教育振興基本計画という山口県教育の最も基本となる計画を作成中である。

古来から、山口県は進取の志の高い県民性をもっている所以、未来に向かって挑戦しつづけていく人間を育てようということを目指して、具体的な策定作業を進めている。

○ 計画では、本県教育の基本目標「未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成」とし、その達成に向けて3つの力「学ぶ力・創る力・生き抜く力」、3つの心「広い心・温かい心・燃える心」をしっかりと養いながら、基本目標の達成に取り組んでいきたい。

本日、いただいた様々な観点からの御意見・御要望をしっかりと踏まえ、「輝く、夢あふれる山口県」づくりに向けて、家庭・地域社会との連携の中で、未来を拓く人財の育成に取り組んでまいりたい。